

平成22年(2010年)8月25日 (水曜日)

非鉄 (6)

大和合金

シーム溶接用ベリ銅電極

中国鉄鋼会社向け初出荷

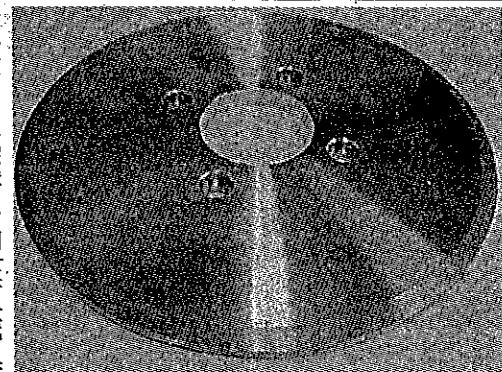
銅合金鑄鍛メーカーの大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏)は今月から、中国鉄鋼メーカー向けにベリリウム銅製溶接電極の出荷を開始する。電極は板をコイル化する際のシーム溶接に使用。溶接電極は大

和合金の主力製品。中国本土への納入は初めてとなる。半年後には本格出荷につなげたいと考えた。

金グループの製造子会社、三芳合金工業(埼玉県三芳町)で溶接・鍛造した後、東京都板橋区の本社工場で仕上げ

加えて国内で大手高炉メーカー向けの実績が多いことも評価された。出荷するのは3トン分6枚。客先では半年間かけて実稼働ラインで同社の電極を試験。認められれば本格的な受注につながる。同社ではアジア向け

で台湾にも電極材を納めているが、中国本土には初の納入となる。今後さらに現地鉄鋼メーカー向けの受注を増



主力製品の溶接電極

海外売上高比率は約1割だが、国内の売り上げを維持しつつ将来的には20%まで伸ばす。

やしたい考え。萩野源次郎常務は「現在のところ納入は1社だが、将来的には現地大手の鉄鋼メーカーに広く売れるようにしたい」と話す。現在大和合金の